

まちのできごと

四国ジビエグルメフェスタ



11月6日(日)、ゆとりすとパークおおとよで「第5回四国ジビエグルメフェスタ2016」が開催され、たくさんの来場者でにぎわいました。

四国のジビエ料理人気店が集まり、鹿バーガー、ジビエホットサンド、シシ肉うどん、いのししの丸焼きなど多彩なメニューが並びました。

今年初めて行われた、ジビエ1グランプリでは、本町の「猪鹿工房おおとよ」が初代グランプリに輝きました。

そのほか、利き肉コンテストやジビエに関する勉強会、高知大学の学生による吹奏楽団演奏など盛りだくさんの内容で、また家族やペットを連れての来場者はポッカールやドッグランを利用するなど大盛況の一日となりました。

つなぎの森づくり事業



11月12日、ゆとりすとパークおおとよで、「つなぎの森 四国 大豊町」がスタッフ、ボランティアを含め約120人の参加で開催されました。「つなぎの森 四国 大豊町」はNEXCO西日本グループ2社、高知県、大豊町の4者間で締結している「つなぎの森 四国 大豊町」パートナーズ協定の趣旨である環境先進企業との協働の森づくり事業の一環として年に1度開催されています。

当日は、植樹活動や下草刈り活動、環境学習を通じて大豊町の自然にふれ、また、さまざまな資源の源に森があることを学び、大変有意義な一日となりました。

自慢の牛を披露 嶺北畜産能力共進会



11月11日、土佐町の嶺北家畜市場で和牛改良の成果を競う第45回嶺北畜産能力共進会が開催され、畜産農家の「自慢の牛」が集合しました。

審査の結果、久保内清さん(谷)の出品牛「第176みはる号」と「第221みはる号」が母系牛群(姉妹または親子で2頭1組)の部で優秀賞を受賞しました。おめでとうございます！

ハッピーハロウィン！



「お菓子をくれないといたずらちゃうぞ!」と、たくさんのお菓子をもらうことができました。

もともとハロウィンは、秋の収穫を祝い、同時に悪霊を追い払う祭りとして、古代ケルト人の秋の収穫感謝祭に由来していると言われています。大豊町に今も残る「かいつり」に少し似ています。

区長さんをはじめ、多くの方に助けをいただき無事開催することができました。これを機に、町内全体が盛り上がるイベントになればうれしいです。

川口南ハロウィンパーティー実行委員会

10月30日、川口南公会堂で「第2回仮装ハロウィンパーティー」を行いました。

「子どもの数が少なくなってきたけど、大人も子どもも一緒に楽しめるイベントがしたい!」との思いから、去年より実施しています。

川口南はもちろん、その他の地区や高知市内からも参加があり、約60人が思い思いの仮装で川口南地区をパレードしました。

いつもと違った面白い仮装や、ちょっと怖い仮装に、泣きだしてしまう子もいましたが、パレードをすころには慣れてきて



まちのできごと

育てています！人権の花



10月8日、9日に、おおとよ小学校と大豊町中学校で人権の花運動が行われました。

この運動は、花を育てることを通じて、命の大切さを学ぶとともに相手をいとおしむ心を育むことを目的に、毎年行われています。

小学生は二人一組で協力して、かわいい花をやさしく植えていました。

この花は今後学校で児童・生徒が育て、卒業式などの行事で使われます。

高知県指導農業士に認定されました



10月27日、高知市の土佐御苑で高知県指導農業士認定証の授与式が行われ、西庵谷の間浩二さんが認定されました。

間さんは、平成25年3月に町の認定農業者に認定され、ミニトマトを中心に収量・品質の向上を図りながら経営しています。また、「大豊とまと」の代表、JA土佐れいほくミニトマト部会の副部長に就任し、地域のトマト農家のまとめ役として勉強会を開催するなど、品質の向上と全体の発展を目指し、日々活動されています。

第2回健康ウォーキング教室を開催しました



10月23日(日)健康ウォーキング教室を開催し、参加者27人が総合ふれあいセンターでポールウォーキングをしました。

健康運動指導士の前田郁先生からは、ポールを使ってのストレッチ、初心者、中級者、上級者の3つの段階の歩き方を順番に教えていただき、メリハリのある運動ができました(ポールに頼り杖にするのではなく、腕を引く、おなかを引っ込める、腕を伸ばしポールを置くことを意識することが大事です)。

最初ぎこちないポールの扱いが、先生の指導でどんどん背筋が伸び、颯爽と歩けるようになりました。

参加された方からは、「お医者さんからポールウォーキングを勧められたが、知らずに杖にして歩きよった。参加してよかった」という声をいただきました。約1時間の間に姿勢も心も美しくなったように感じられました。

祝！国道439号開通



10月30日、高知県が行っていた国道439号「落合拡幅工区」最後の未整備区間700mの工事が終わり、着工から27年の歳月を費やし約3kmの道路改良工事が完了し、開通式を行いました。

式典には、国、県、町の関係者や地元住民ら約150人が出席し、神事のあと、テープカットとくす玉割りに続き、新しいトンネルや橋を歩いて通り初めのパレードを行いました。

岩崎町長は「安全・安心な生活に欠くことのできない道路として、引き続き京柱峠までの区間を一日も早い完成を目指していく」と式辞を述べました。